

令和6年度 洗足池小学校 授業改善推進プラン

※ 令和5年度は、授業改善推進プランに基づいた授業改善を行うことにより、着実に児童の学力を向上させることができた。本年度も、本校児童の実態に応じた授業改善を推進していくため、令和6年度大田区学習効果測定の結果や、日々の児童の様子から考えられる本校の授業改善策を以下のとおり取りまとめた。

◇ 国語科 改善策

- (低学年)：平仮名や片仮名では、促音・長音・拗音などの基礎的な表記の決まりを身に付けさせる。教員が絵本などの読み聞かせを行い、語彙を増やす。
- (中学年)：作文の学習などで主語と述語について繰り返し指導する。読書に積極的に取り組めるように、読書カードを活用する。
- (高学年)：読むことや書くことなどの学習の中で主語・述語・修飾語・敬語などについて繰り返し指導する。

◇ 社会科 改善策

- (中学年)：基本的な資料の読み取りを行う機会を授業の中で意図的に取り上げていく。
- (高学年)：ICTや地図を活用しながら、基本的な知識の定着を目指す。特に「自然災害からくらしを守る活動」の分野で、資料を読み取りながら丁寧に授業を進めていく。

◇ 算数科 改善策

- (低学年)：具体物や半具体物を用いて、知識の定着を図り、ICTや実物を取り入れ、着実な知識の活用を目指す。
- (中学年)：低学年からの積み重ねを意識し、課題に対して児童が考える活動を増やす。特に計算のきまりは、小数や分数、大きい数になっても変わらないため、既習事項を生かした指導をする。
- (高学年)：数学的な見方・考え方を、自分なり（図や式や言葉など）に表現し、共有する活動を取り入れる。特にデータ活用に課題があるので重点的に指導する。

◇ 理科 改善策

- (中学年)：具体物の観察機会を充実させるとともに、ICTの活用を図ることで基本的な知識の理解の定着を図る。また、理解した内容を自分のことばで表現する活動を充実させることで記述解答の正答率の上昇を目指す。
- (高学年)：ICTを活用しながら、基本的な知識の定着を目指す。また、理解した内容を自分の言葉で表現する活動を充実させていく。

◇ 外国語科 改善策

- (高学年)：アルファベットの読み方を正しく理解させるために、繰り返し発声する時間をとる。自分の気持ちや考えを伝えるための表現を使う場面を設定し、やり取りの中で活用できるようにする。

◇ 生活科 改善策

- (低学年)：児童が自分で調べることができる資料の十分な準備と、具体的な取り組みの際の事前指導を丁寧に行う。また、自分の考えや思いを児童同士が共有する場を定期的に設けたり、掲示物などで学習過程を視覚化したりすることができるようにする。

◇ 図工科 改善策

- (低学年)：作品を鑑賞することを通して、作品や材料の造形的な面白さや楽しさ、表し方などについて、感

じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げられるようにする。

(中学年)：他者の発想のよさを取り入れつつ、自分らしく表現できるよう、様々な表現方法や材料の活かし方を提示する。自分の見方や感じ方を広げられるようにする。

(高学年)：既習事項を生かして創造的に表す。自分の内面や思いなどを抽象的に表す経験し、様々な表現方法があることを学ぶ。また、友達と意見を交流させることで、自分の見方や感じ方を深められるようにする。

◇ 音楽科 改善策

(低学年)：思いや意図に合った表現をするために必要な、自然で無理のない歌い方で歌う技能や周りの音に合わせて演奏する技能を身に付けられるようにする。

(中学年)：音楽的要素を明確にし、それにともなった表現の工夫を全体で考えて演奏できるように、技能の定着を図る。

(高学年)：今までに得た知識と関連付けながら表現の工夫を考えられるように、音楽的要素を明確にし、考えた表現の工夫をして演奏できる技能を身に付けられるようにする。

◇ 家庭科 改善策

(高学年)：実際の生活場面を想起しながら体験学習を多く取り入れ、児童自らが生活に生かせるよう工夫する。

◇ 体育科 改善策

(低学年)：安全な取り組み方を理解させ、その運動における基本的な動きを身に付けさせる。

(中学年)：安全な取り組み方を理解させ、その運動における基本的な動きを身に付けさせる。健康に関する知識を高める。

(高学年)：安全な取り組み方を理解させ、その運動における基本的な動きを身に付けさせる。健康に関する知識を高める。